

観賞用植物のトレンド

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2025年10月1日（水）から3日（金）にかけて、幕張メッセで「国際ガーデン&アウトドア EXPO」（主催：RX Japan 株式会社）が開催されました。

花、植物を展示するブースを取材しましたので、その概要を紹介します。

1 暑さに強いPW品種

企画展示「暑さ寒さに負けない！進化する世界の種苗展」では、PW※¹（PROVEN WINNERS）の暑さ、寒さに強い商品を展示していました。夏越し対策の必要度合を「耐暑性レベル※²」として5段階に分け、全てのPW商品に表示しており、耐暑性レベルが最も高い★5つでは、「ほぼお手入れなしできれいに夏越し可能」と説明がありました。

昨今、夏の猛暑や高温多湿により屋外で観賞用植物を管理するのが難しくなっています。耐暑性レベルを表示することで、鉢の置き場所や、遮光や剪定などの手入れが必要かどうか等、購入後の取扱い方法を消費者に分かりやすく伝えています。

※1 PW（PROVEN WINNERS）は世界20社の種苗会社が参加する植物の国際ブランド。「世界中の育種家が生み出す、優れた園芸品種を紹介すること」をコンセプトに、世界中の育種家から集めた園芸品種を、厳しい試験を繰り返して選抜し、品種化している。日本の企業では株式会社ハクサン（愛知県日進市）1社のみが参加。

※2 耐暑性レベルは最高気温、夜温、西日、湿度等の影響要因を考慮して設定。



耐暑性レベルごとに商品を掲示



耐暑性レベル★4のPW品種
「スーパーペチュニア」

2 「ローメンテナンス」な植物、園芸資材

植物を展示するブースでは、最小限の手入れで美しさを保つ「ローメンテナンス」を意識した植栽用の植物が目立ちました。ローメンテナンスな植物には生長が遅いコニファーや、暑くても花が咲くノリウツギなどがありました。また、園芸資材を扱うブースでは、長期間水やりを必要としない底面給水鉢が多く展示してありました。

観賞用植物のトレンドは、暑さ、寒さに強い品種であること、ローメンテナンス（最小限の手入れで美しさを保つ）であると感じました。これらにより、花や植物のある暮らしを始めるきっかけになることが期待されます。